

2026年 1 月号

静岡県環境アセスメント協会 会報誌



令和7年活動報告

令和7年は例年通り、「麻機遊水地クリーン作戦」への参加、協会の理事会・総会、「環境保全セミナー」の実施に加え、希望者による現地視察（大阪万博）も行うことができました。



麻機遊水地クリーン作戦

2025年5月24日、麻機遊水地保全活用推進協議会主催、麻機湿原を保全する会、静岡県土木事務所、静岡市役所共催による麻機遊水地クリーン作戦に参加しました。静岡県環境アセスメント協会からは8名が参加し、当協会の専門性を生かして、特定外来生物の防除活動を行いました。

麻機遊水池第3エ区での外来種駆除活動も、2014年開始から12年目（作業なしの年を含む）を迎えました。近年はオオキンケイギクが減ってきたため、別の外来種の引き抜き作業をしています。特にナガエツルノゲイトウは浅畑川から遊水地にも侵出しており、繁殖力が強いので要注意の種です。



ヒルザキツキミソウ



オオブタクサ



外来種防除活動 2025年5月
※周囲の写真は今回駆除した主な外来種



ナガエツルノゲイトウと駆除作業の様子

特定外来生物(ナガエツルノゲイトウ)駆除作業 協力

昨年に引き続き、官学民連携による特定外来生物(ナガエツルノゲイトウ)駆除計画と駆除作業が実施されました。静岡県環境アセスメント協会からは常時2~4名が事前の打ち合わせ、駆除作業に参加しています。

2025年12月16日静岡市主催の駆除作業は、麻機遊水地に隣接した浅畑川で実施され、官公庁・大学・民間団体・企業などの方33名が参加し、530kgを駆除しました。

今後も何からの形で関わっていきたいと思います。



作業開始前の集合状況
(初参加の人にはレクチャーがありました)



掘り取り作業



全体の作業風景



駆除されたナガエツルノゲイトウ

大阪万博視察



2025年9月26日-27日、来年の協会40周年に向けたイベントの一つとして、大阪万博視察を実施しました。協会での現地視察は、2013年の東北復興視察以来12年ぶりとなります。

各々業務の都合等もあり、移動と現地は個人行動、夜の会食での報告・交流と、後日の報告資料作成という形で実施しました。各自違った視点で万博視察を行うことができ、現地で実際に見ることによる学びも多く、有意義な視察になったと思います。

今後も定期的に視察を計画し、実施していきたいと思ひます。



パビリオン外観(左から順に イタリア、オーストリア、オランダ)



世界に誇る日本の技術



環境保全セミナー



2025年12月5日、静岡県環境アセスメント協会および静岡県環境保全協会、静岡県との共同開催により環境保全セミナーを開催しました。

セミナーは、建設コンサルタント関連や工場等の民間企業をはじめ、県・市町の環境関連担当者に申込いただき、参加者数は54名でした。第18回目の開催となります。

講演1 「水・大気環境行政の現状と課題」

環境省 水・大気環境局総務課 政策企画官 島田智寛氏より、PFASへの対応、ALPS処理水に係るモニタリング、海洋プラスチック問題への対応等に関する環境行政について、ご講演頂きました。



講演2 「環境影響評価法を巡る最近の動向」

環境省 大臣官房環境影響評価課環境影響審査室 室長補佐 西山卓也氏より、法律の一部改正を含む最新の環境影響評価の動向、手続きの合理化など環境省の取組について、ご講演頂きました。



講演3 「静岡県における環境ビジネスの取組について」

静岡県くらし・環境局環境部 環境政策課 主査 竹内翔氏より、静岡県の「SDGs BUSINESS AWARD」の詳細や、実際に受賞した会社の取組をご紹介します。

静岡県環境アセスメント協会・静岡県環境保全協会・静岡県 共同開催

環境保全セミナー

～最近の環境行政の動向～

本セミナーは、「環境行政の最新情報の把握」を目的として開催いたします。
今回は、「水・大気」「環境影響評価」に係る最近の動向について、わかりやすく説明していただきます。

日時 令和7年12月5日(金) 13:30～16:30

場所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 501会議室
静岡県駿河区馬淵1丁目17-1
※JR 静岡駅北口から国道1号沿いに西へ(安倍川のへ) 徒歩9分
※駐車場なし(公共交通機関をご利用ください)

講演

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:35 ●「水・大気環境行政の現状と課題」
講師：環境省 水・大気環境局総務課 政策企画官 島田智寛 氏

14:35～14:45 (休憩)

14:45～15:45 ●「環境影響評価法を巡る最近の動向」
講師：環境省 大臣官房環境影響評価課環境影響審査室 室長補佐 西山卓也 氏

15:45～16:15 静岡県からの情報提供
●「静岡県における環境ビジネスの取組について」
講師：静岡県くらし・環境部環境部 環境政策課 主査 竹内翔 氏

16:15～16:20 閉会挨拶

参加費 無料 (定員90名)

主催：静岡県環境アセスメント協会、静岡県環境保全協会、静岡県
後援：株式会社環境アセスメントセンター、株式会社サイエンス、一般社団法人静岡県産業福祉センター、静岡コンサルタント株式会社、株式会社東日、株式会社フジヤマ

※本セミナーは「一社」環境コンサルタツツ協会 CPD認定プログラムです。

お問い合わせ
●静岡県環境保全協会 (静岡市駿河区馬淵町1-17 静岡教育会館3F)
TEL: 054-254-9663 FAX: 同
E-mail: saep-mtyo07@opaz.ocn.ne.jp
●静岡県環境アセスメント協会 (静岡市東区東山1-1-12)
TEL: 054-255-3639 FAX: 同
E-mail: seakanikyo2020@shizuoka.eaa.com

参加申し込み
令和7年度環境保全セミナー申込フォーム
<https://form1.sai.fc2.com/form/td...79a-55ae20297177>

定員90名になり次第締め切ります
(申し込み締切 令和7年11月30日)



静岡県環境アセスメント協会の活動の歴史

静岡県環境アセスメント協会は、1986年8月7日に、静岡県内の建設コンサルタントや環境測定・分析企業が集まって、健全で豊かな環境の維持と、環境アセスメント制度を普及することを目的として設立されました。それから38年を経て、現在静岡県内6社が参加・連携し、県内各地域の活性化につながる環境保全活動を行っています。

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
1986	・環境影響評価実施要綱について（環境庁企画調整局長通知）	・静岡県環境アセスメント協会設立
1987		・焼却場・し尿場環境影響評価技術指針案作成
1988		・静岡県環境影響評価技術指針案の作成
1991		・環境影響評価技術マニュアルの作成
1992	・静岡県環境影響評価要綱施行 ・絶滅のおそれのある野生動物の種の保全に関する法律制定	・静岡県環境影響評価要綱説明会開催
1993		・リモートセンシングセミナー開催
1994	・環境影響評価制度総合研究会発足	・環境創造シンポジウム開催
1995		・静岡県環境影響評価要綱技術説明会開催 ・静岡県環境影響評価技術指針の手引き作成
1996	・今後の環境影響評価制度の在り方について ・静岡県環境基本条例制定	・静岡県環境基本計画「中間検討案」への意見書提出
1997	・環境影響評価法公布	・環境影響評価法に関するシンポジウム開催
1998	・環境影響評価法施行規則公布 ・環境影響評価法に基づく主務省令公布	・静岡県における環境影響評価制度の在り方についての意見書提出
1999	・環境影響評価法全面施行 ・静岡県環境影響評価条例施行	・静岡県環境影響評価条例セミナー開催 ・静岡県環境影響評価技術指針説明会開催
2002		・環境フェア出展
2003	・静岡県版レッドリストの公表	・静岡県版レッドリスト説明会開催
2004	・まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック発行 ・静岡県版レッドリストの更新	・静岡県版レッドデータブック説明会開催 ・環境・森林フェア出展
2006		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催 ・20周年誌発行
2007		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2008		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2009		・環境・森林フェア内で環境保全セミナー開催
2010	・静岡県希少野生動植物保護条例の制定	・環境・森林フェア出展
2011	・環境影響評価法改正公布 ・静岡県希少野生動植物保護条例の施行	・環境保全セミナー開催
2012		・環境保全セミナー開催
2013	・改正環境影響評価法完全施行	・環境保全セミナー開催
2014	・南アルプス ユネスコエコパーク登録	・麻機遊水地フェスタ（環境学習会開催） ・環境保全セミナー開催
2015		・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・環境保全セミナー開催
2016	・第3次静岡県環境基本計画の見直し ・ふじのくに地球環境史ミュージアム開館	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・30周年記念事業（式典、講演会） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2017	・静岡県版レッドリスト全面改訂	・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・環境保全セミナー開催
2018		・麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） ・麻機遊水地フェスタ出展 ・第12回アジア環境アセスメント会議 in 静岡 協賛、参加 ・環境保全セミナー開催

年	国・静岡県の主な動向	静岡県環境アセスメント協会の主な活動
2019	<ul style="list-style-type: none"> 環境影響評価法施行令の一部改正の公布 静岡県版レッドデータブック【動物編】公表 	<ul style="list-style-type: none"> 麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） 環境保全セミナー開催
2020	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県版レッドデータブック【植物編】公表 	
2021		<ul style="list-style-type: none"> 環境保全セミナー開催（オンデマンド）
2022	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県盛土等の規制に関する条例施行 静岡県水循環保全条例施行 	<ul style="list-style-type: none"> 麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） 環境保全セミナー開催
2023	<ul style="list-style-type: none"> 宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)施行 	<ul style="list-style-type: none"> 麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） 麻機遊水地フェスタ出展 環境保全セミナー開催
2024	<ul style="list-style-type: none"> 地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律（生物多様性増進活動促進法）公布 	<ul style="list-style-type: none"> 麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） 麻機遊水地フェスタ出展 環境保全セミナー開催 麻機遊水地特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ）駆除 協力
2025	<ul style="list-style-type: none"> 地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律（生物多様性増進活動促進法）施行 	<ul style="list-style-type: none"> 麻機遊水地クリーン作戦（外来植物駆除） 現地視察（大阪万博）実施 環境保全セミナー開催 麻機遊水地特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ）駆除 協力

(株)環境アセスメントセンターの業務・CSR活動紹介

2025年度も静岡市SDGs宣言の一環として、業務やボランティア活動を通じて1年間、目標達成に取り組みました。ここでは、取り組みの一部(環境に関する目標)をご紹介します。



環境保全セミナーの企画運営、地方自治体の自然観察会の開催支援、環境に関わる広報資料作成支援により、環境教育の推進に貢献する

自然観察会の開催支援

裾野市・長泉町・清水町・沼津市・小山町などの自治体が主催する親子対象の自然観察会の講師や、自治体職員への研修を行いました。自然とのふれあいに関する解説の仕方や安全管理は、若手社員にとっての学習の場にもなっています。



川での注意事項・採集方法の説明



参加者の採集補助



採集結果のまとめ

環境教育の推進

静岡市と(株)BANDAI SPIRITSが共同で進める海洋プラスチックごみ問題の学習プログラム「クリーンオーシャンアカデミア」について、全国で初めて水族館で実施するイベントの企画・運営をしました。サンシャイン水族館・静岡市・(株)BANDAI SPIRITSの共同開催により、参加者からの満足度の高いイベントとなりました。



イベント広報とイベント中のプラモデル組立



河川・遊水地・海岸等における清掃活動を支援することで、川から海へと通じる生態系の豊かさを守り、マイクロプラスチック対策の取り組みに貢献する

静岡県環境アセスメント協会の一員として麻機遊水地クリーン作戦に参加したほか、県内外の河川で清掃活動を行いました。



狩野川クリーンアップ大作戦



天竜川クリーン作戦



安倍川流木クリーンまつり

自然環境調査、希少な動植物の保全対策の実施、外来種駆除活動の支援、地方自治体の生物多様性地域戦略の策定支援を通じて、地域の生物多様性の向上に貢献する

外来種駆除活動の支援

地域の生物多様性を脅かす外来種対策・駆除活動を支援しています。外来種対策は継続的に実施する必要があるため、長期的な視点で今後も関わっていきたいと考えています。



外来種駆除指導
(富士山)



ナガエツルノゲイトウ駆除作業
(麻機遊水池)



近年課題となっている特定外来生物

生物多様性の向上への貢献

自然環境調査や保全対策の業務経験と技術を活かし、調査で確認された希少な動植物については、レッドデータブック等の保護方針に基づき、保全対策を提案・実施しています。

また、2025年4月に施行された地域生物多様性増進法に基づき、企業や市町村等により生物多様性を維持・回復・創出する活動を行う増進活動実施計画や、連携増進活動実施計画の策定支援を行っています。→計画の実施区域が「自然共生サイト」となります。

地域生物多様性増進活動の対象となる区域

維持タイプ：既に良好な自然環境（例：豊かな里山、自然公園、企業緑地）があり、それを保全・維持する活動

回復タイプ：過去に生物多様性が豊かだったが、失われた場所（例：管理放棄された森林、荒廃農地）を元の状態に戻す活動

創出タイプ：現在、生物多様性を欠いている場所（例：アスファルト敷きの開発跡地、埋立地）に、新たな自然環境を造り出す活動

回復・創出タイプも含めると
こんなところも
活動対象地域（自然共生サイト）になります

企業の森、ビオトープ、自然観察の森、
里地里山、森林施業地、水源林、社寺林、
企業敷地内の緑地、都市内の緑地、
都市公園、ゴルフ場、スキー場、遊水池、
河川敷、建物の屋上など



30by30

生物多様性のための

30by30 アライアンスに参画しています

30by30 (サーティ・バイ・サーティ)とは、生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、2030年までに国土(陸・海)の30%以上を自然環境エリアとして効果的に保全することを目標とする国際的な約束です。当社は生物多様性保全に関する業務経験を活かし、環境省の「30by30 アライアンス」に参画するとともに、30by30の実現に向けた保護地域の拡大・管理の拡充を図るための取り組みを支援しています。

弊社は『環境における医師となる』を合言葉に、安全で豊かな環境を保全するため、信頼のおける技術力で地域に貢献する企業を目指しています。以下に弊社業務とその一部の例、CSR 活動についてご紹介します。

業務紹介

環境アセスメントに係る、自然環境調査・生活環境調査及び、水質・土壌・大気等の各種環境分析を行っています。

計量証明

- ・水質分析（河川水・地下水・事業場排水 等）
- ・煤煙測定
- ・騒音・振動測定

環境調査

- ・底質調査
- ・産業廃棄物分析（燃え殻・汚泥・廃塗膜・PCB 等）
- ・アスベスト調査
- ・土壌汚染状況調査
- ・悪臭調査
- ・化学物質の濃度測定（シックハウス測定）
- ・温泉分析
- ・林地開発許可に伴う希少野生生物調査
- ・希少植物の移植作業

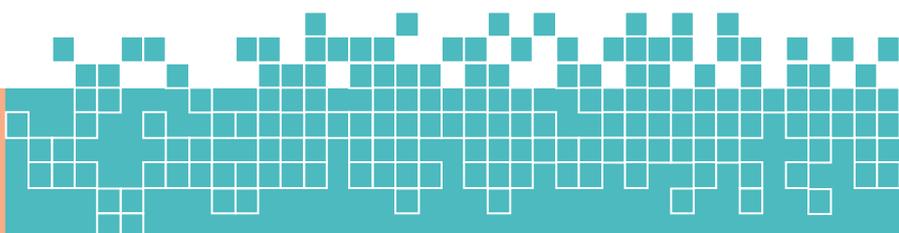


河川水の採水風景



ICP-MS

金属類の微量分析を行うことができます



自然環境調査

林地開発許可申請や静岡県自然環境保全協定に係る希少野生生物調査（植物・菌類・両生類・爬虫類・哺乳類・陸生貝類・昆虫・鳥類・魚類）や、猛禽類のモニタリング調査などを主に実施しています。協定にかかわる調査で希少種が見つかった場合、施主様へ保全対策のご提案をしています。



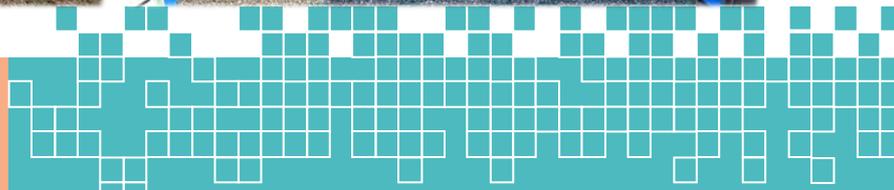
Science News

年 4 回、Science News を発行しています。法改正に係る情報や社内での活動の様子などを紹介しています。メルマガでの配信のほか、ホームページ上にも掲載をしていますので、ぜひご覧ください。最近では、騒音測定についての紹介や、個人ばく露測定のトピックスに触れています。



地域の有志活動への参加

三保海岸のゴミ拾いや下草刈り、不用品を持ち寄って、持ち帰る掘り出し物市のボランティアスタッフなどに参加しました。地域の様々な活動に参加することで、地域とのつながりも大切にしています。



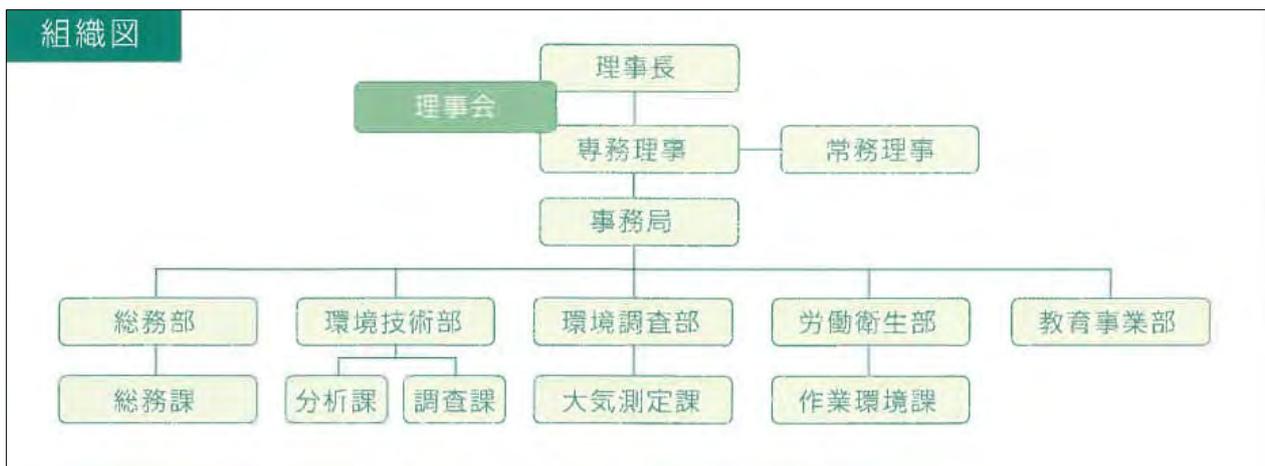
一般社団法人静岡県産業環境センターの業務紹介

健康で明るい地域社会と健全な産業の発展を目指して

表題の言葉は、当法人の定款に謳われた目的です。当法人は事業活動に伴って生ずる様々な環境問題を調査、測定、分析、評価し、環境の保全、向上、改善を推進する機関として、昭和 47 年に地域の産業界と行政機関が中心となり静岡労働基準局（現静岡労働局）の許可を受け設立されました。

皆様方から格別なご愛顧を賜わり連営は順調に推移し、永年に亘る技能の研鑽とノウハウの蓄積がもたらす高度な技術を駆使したデータとコンサルティングは、高い信頼を得ています。

歩みを止めることなく更に努力を重ねると共に、産業の進歩にあわせ日々複雑化する環境問題に対応すべく、新技術の開発にも力を注いでまいります。



地球環境保全

私たちは以下の事業を通じて、地球環境保全への貢献を目指しています。

- ・大気
 - ボイラー、焼却施設などの排出ガス測定
 - 一般環境大気測定
- ・水質
 - 工場排水分析
 - 河川水質分析
 - 地下水水質分析
 - 浄化対策支援
- ・土壌
 - 土壌汚染調査
 - 土壌ガス調査
- ・騒音
 - 工場、建設工事、道路騒音測定
 - 低周波音測定
- ・振動
 - 工場、建設工事、道路振動測定
- ・悪臭
 - 発生源・環境等臭気指数・物質濃度測定



- ・産業廃棄物
 - 含有・溶出試験、引火点試験
- ・環境アセスメント
 - 廃棄物中間処理施設等生活環境影響調査
 - 環境影響評価
- ・環境コンサルティング
 - 大気汚染防止対策、騒音・振動対策、悪臭防止対策

労働衛生

- ・作業環境測定
- ・労働衛生(工学)コンサルティング
- ・濃度基準値設定物質等の個人ばく露測定
- ・化学物質管理専門家や作業環境管理専門家の派遣
- ・マスクフィットテスト
- ・労働衛生教育に関する講師派遣

教育

- ・環境情報セミナー
 - 定時総会の開催後に記念講演会として環境情報セミナーを行っています。
- ・労働安全衛生教育の講師派遣
 - 労働安全衛生教育の講師派遣の事業としまして、静岡県労働基準協会連合会等各種団体や民間企業が主催する安全衛生教育等の講師として、労働衛生(工学)コンサルタント等を派遣しています。
- ・産環セミナー
 - 労働安全衛生及び環境保全に関する教育及び指導の事業として、労務や環境の管理者及び実務者を対象とした以下の研修会を行っています。
 - ①労働安全衛生研修会
 - ②騒音・振動測定実務者研修会
- ・機関誌「産業環境」発行
 - 安全衛生及び環境に係る法令等の改正や環境に関連する最新技術等の情報を収集し、機関誌として年2回発行しています。

● 記念講演会 ●

環境情報セミナー
演題「ライフサイクル評価を用いた環境経営の現状と今後の展望」

講師 早稲田大学 理工学術院
創造理工学部 環境資源工学科
教授 博士(工学) 伊埜 徳宏 氏

第14回定時総会終了後、上記の演題にて記念講演会を開催いたしました。
多数の参加をいただき誠にありがとうございました。

講演では、ライフサイクルアセスメントは工場製品の製造に対する影響を定量的に評価する手法ということですが、評価する対象は食品、生活用品そしてエネルギーなど幅広い産業にも適用でき、ライフサイクルアセスメントは経営方針や政策にも展開できるという大きな可能性を秘めていることが分かりました。

なお、当セミナーで使用した資料をご希望の方は、事務局までお申し出下さい。
(TEL:053-428-3430(野末まで))



講演者 伊埜 徳宏 氏



講演会 会場



講演会 会場

4

令和7年度 第1回産環セミナー 開催のご案内
騒音・振動測定実務者研修会「現地実務者の測定手法について」

開催日時 令和7年11月20日(金) 12時30分～18時00分

開催場所 一般社団法人 静岡県産業廃棄物センター 事務所2階 研修室
浜松市浜名区新部田一丁目4番6号(奥の案内図をご参照下さい)

研修内容 (1) 騒音に関する法規制
(2) 騒音に関する設備
(3) 騒音測定法に基づく下部騒音の測定方法
(4) 環境影響評価にまつる工場内の測定方法
(5) 騒音・振動の実態
① 実務者による実務者
② 実務者の実務実態
③ 90%レンジ上騒音、80%レンジ上騒音の求め方
※実務で使用する測定機器のご用意いたします。なお、実務に使用している測定機器(騒音計、減音機、レベルメーター等)をご持参いただければ、更に実務でより実態に近づけると幸いです。

講師 田中 隆 氏
当センター 環境調査部 大気環境課スタッフ

参加料 会員 2,000円 一般 6,000円 (1名あたりの概算価格です。)

定員 20名 (お申し込み先着順で締め切ります。)
※1名2名までのお申込みとさせていただきます。

申込期間 令和7年11月10日(月)

申込方法 (1) 貴社の担当役員へご依頼をいただき、FAXにてお申し込みいただくか、事務局担当スタッフに直接お申し込みください。
(2) 参加料は、開催当日に現金にてお支払い下さい。

その他、不明な点等ございましたら、以下までお問い合わせ下さい。
当センター 事務局 野末浩樹
TEL: 053-428-3430 FAX: 053-428-3447 E-mail: jinkazoku@evanokai.co.jp

広報セミナーNo.2025-1 一般社団法人 静岡県産業廃棄物センター

令和7年度 第2回産環セミナー 開催のご案内
安全衛生研修会
「化学物質のリスクアセスメント(有害性)～濃度基準値設定物質等への対応～」

開催日時 令和7年10月16日(日) 14時00分～16時00分

開催場所 一般社団法人 静岡県産業廃棄物センター 事務所2階 研修室
浜松市浜名区新部田一丁目4番6号(奥の案内図をご参照下さい。)

研修内容 (1) 化学物質のリスクアセスメントの概要
(2) クラウド型のリスクアセスメントソフト
～その1)に収録されている事例を踏まえて～
(3) 濃度基準値設定物質等への対応(その1) 実務者が行う実務
(4) 濃度基準値設定物質等への対応(その2) 換気等による換気効率
(5) 濃度基準値設定物質等への対応(その3) バックアップによる対策
(6) 濃度基準値設定物質等への対応(その4) バックアップによる対策

講師 田中 隆 氏
当センター 環境調査部 作業環境課スタッフ

参加料 会員 2,000円 一般 3,000円 (1名あたりの概算価格です。)

広報セミナーNo.2025-2 一般社団法人 静岡県産業廃棄物センター



静岡コンサルタント(株)の業務紹介と CSR

弊社では、事業による環境への影響に配慮し、専門家や地元 NPO と協働した自然環境調査・環境に配慮した工法の提案を行っています。また商工会議所と協力して社内にグリーンインフラを広げる取り組みも行っています。業務を紹介するとともに、地域の清掃活動、職場体験の受け入れなどを通じて、地域貢献のために下記の取り組みを実施しています。

松毛川自然環境調査

三島市に位置する松毛川（沼津市では灰塚川）は、昭和初期の狩野川の堤防工事により残された三日月形の止水域で、配慮すべき生物が生息しています。事業による影響を出来る限り軽減する対策を検討するため、自然環境調査を実施し、工事期間中も継続して調査しています。



生態調査



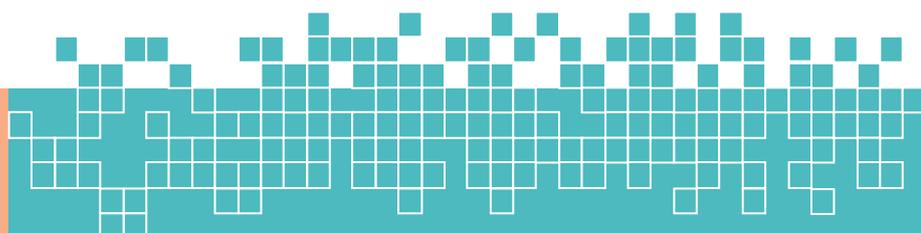
水質検査



敷地内に農地化計画



本社駐車場の整備に伴い、2025 年 12 月から一部を農地として活用することになりました。社員のクラブ活動の一環として、農業部を中心に現在整備を行っています。社員交流や運動不足解消、BCP 対策など休憩時間を利用して徐々に進めています。春以降の収穫が楽しみです。



小学生・中学生・高校生の職場体験

毎年近隣中学校・3校、高校・2校を受け入れています。また2023年からは、静岡県東部の魅力ある「働く場」があることを知ってもらう夏休み自由研究体験講座に参加し、夏休みに小学生の受け入れも行いました。体験講座では、仕事内容や UAV シミュレーター体験、設計ソフト体験などを実施しました。

職場体験では、地図情報システムを使って自宅までの地図作成や CAD や 3D ソフトを使用しての構造物設計、UAV 飛行見学など、「地図に残る仕事」の体験をしてもらいます。



小学生 体験講座の受け入れ



社長からも説明を実施

地域清掃活動



大場川清掃

2020年に沼津土木事務所・三島市とリバーフレンドシップ協定を結び、毎年社員とその家族の参加を集い、大場川の清掃活動も行っています。



献血活動



本社駐車場にて、献血活動を実施しています。毎回、若手からベテランまで多くの社員が参加しています。



(株)東日の業務紹介とCSR



50年の実績から夢ある100年へ

総合建設コンサルタント

株式会社 東 日

弊社では環境系業務として、自然環境の創出、拡大に資する緑地設計及び施設整備に伴う既存樹木の移植、保全の調査、提案や開発行為に伴う希少野生生物の調査などを行っています。ここでは、弊社が実施した都市における緑地創出の一例をご紹介しますとともに、近年のCSR活動を紹介します。

身近な森づくり<自然環境の創出>

沼津市の門池公園（総合公園）において、“エコのまち沼津”の推進施策の一つとして市民、関係団体、企業及び沼津市の協働により、平成25年に沼津の森づくり 植樹祭が実施されました。弊社は、公園の測量、設計とともに、森づくりの植栽基盤の設計に携わりました。

植栽については、生育が早い森づくりに有効な苗木の混植・密植型植樹の宮脇方式が導入され、潜在自然植生を踏まえた常緑広葉樹中心の森づくりとなっています。

【門池公園／沼津の森づくり】



植樹祭 2013年 (H25)

緑化整備前



2010年 (H22)

植栽後2年経過



2015年 (H27)

植栽後11年経過



2024年 (R6)

身近な水辺環境づくり<生物多様性の回復>

三島市の水の苑緑地（都市緑地）において、市街地に残る貴重な空地に既存の湧水を活用し生物多様性の回復に繋がる水辺環境を創出するための測量、設計を行いました。

本緑地は、整備後約30年が経過し、カワセミが観察されるなど自然とのふれあいの場として利用され続けています。

【水の苑緑地／三島市】



1994年 (H6)～現在
湧水を利用した水辺環境の創出



都市緑地のプランニング

自然環境系 計画・設計業務

CSR 活動

土木の日

地域イベント

毎年開催される静岡県交通基盤部主催の「土木の日」のイベントの一つとして、「土木の日 in 沼津港」において（一社）静岡県測量設計業協会の測量体験ブースにスタッフを派遣しています。令和7年11月15日のイベントでは、参加者が投げたボールまでの距離を測量機器により自分で確認して頂き、楽しく測量を体験して頂きました。



測量体験ブース

県民の日

地域イベント

令和6年度県民の日のイベントの一つとして、静岡県沼津土木事務所が主催した「沼川新放水路親子見学ツアー」の支援を行いました。3次元計測に使用する測量機器（LIDAR SLAM）を用いて計測した放水路トンネル内外を3次元で展示したほか、VRゴーグルを用いて沼川新放水路の完成イメージを3次元画像で体験して頂き、小中学生の親子に楽しみながら公共事業について学んで頂きました。



3次元画像体験

清掃活動

地域清掃

沼津市にて、平成26年からスタートした市民と行政が協働で進める沼津市の環境美化活動制度「ぬまづまちピカ応援隊」に参加し、沼津市大岡地内の市管理河川で年2回清掃活動を実施しています。

函南町にて、道路愛護事業の一環で行われる道路の清掃や草刈りの活動に毎年参加するなど、環境美化に取り組んでいます。



令和7年河川清掃



義援金活動

寄付活動

大規模災害などが生じた際には、被災された方々などへの一助とならんことを願い、社内有志による発案をもって義援金ボックスを設け、従業員からの支援を募り、（公社）静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団を介し、日本赤十字社静岡県支部などへ寄託する活動を継続的に行っています。

義援金活動一覧

令和7年9月	台風第15号災害	令和3年7月	熱海市伊豆山土石流災害
令和6年1月	能登半島地震	令和2年7月	豪雨
令和4年9月	台風第15号災害	令和元年10月	東日本台風

(株)フジヤマの業務紹介

環境調査・アセスメント

開発に係る事業の場合は、その多くで「環境調査」や「環境配慮」が義務付けられています。

例えばリニア新幹線といった大規模事業では環境影響評価法という法律の中で環境アセスメントの実施が定められていますが、他にも、静岡県の自然環境保全条例や政令市で定める条例アセスなどがあります。また、天然記念物（文化財保護法）や希少野生動植物種（種の保存法・県条例等）、指定種（自然公園法）など、希少な動植物やそれらの生息地に係る法令もあり、このような場所で現状の改変が行われる場合も環境調査等が必要となります。



調査中に観察されたサシバ



自然環境調査（鳥類調査）



生活環境調査（地下水位測定）

一方で、このような法令とは関係なく環境調査が行われる場合もあります。例えば公園や街路樹の樹木管理、道路や施設の振動や排水に対する問題、農業施設でのアオコ・ユスリカの発生や外来種の蔓延など、昨今の環境に対する社会的な関心の高まりのなか、これまでとは違った環境問題も散見されます。

当社では、法令などを踏まえた上で事業に係る環境の保全・創出について適正な配慮がなされるために必要な、調査、評価、解決策を提供します。

フジヤマの環境調査

適切な環境配慮の提案と事業者負担の軽減のため、フジヤマでは可能な限り新技術や新知見を取り入れ、効率的かつ効果的な環境調査を計画・実施しています。



樹木調査

フジヤマの環境提案

当社には道路・河川などの一般土木分野の技術者はもちろん、都市計画、文化財保護、農業土木等の専門技術者も多数在籍しています。この多様な専門性を活かし、事業の進捗状況や対象施設の運用実態を踏まえた総合的な環境提案を行っています。



箱根旧街道
(文化財)



西山調整池
(農業用水施設)



委員会やワークショップ

委員会やワークショップでは、その事業に関係する専門の技術者がサポートを行い、環境保全の両立を提案します。

フジヤマの自然環境教室

当社では、多くの子どもたちに地域の自然に親しみ、生物多様性の重要性を学んでもらうことを目的に、一般社団法人浜松公園緑地協会と共催し、浜松市緑化推進センター（みどり〜な）にて環境教室を開催しています。環境教室は、春・夏・秋の年3回実施しており、信州大学名誉教授の藤山静雄先生の講話や自然の中で生き物を観察するフィールドワークを通して、楽しみながら環境について学べる内容となっています。



親子でフィールドワーク



環境教室

今後も環境教室などを通して、子どもたちだけではなく地域の皆さんにも自然環境や生物多様性の大切さを啓発していきます。

……環境に関するお悩みごとがありましたら、ぜひ協会及び各会員組織へご相談ください。

静岡県環境アセスメント協会 会員一覧

株式会社 環境アセスメントセンター

〒420-0047 静岡市葵区清閑町13番12号 Tel054-255-3650 Fax054-253-7891
環境アセスメント／動植物・生態系調査／環境・防災地質調査／生活環境調査／環境基本計画
地球温暖化対策実行計画／生物多様性地域戦略／環境教育／適応計画

株式会社 サイエンス

〒424-0812 静岡市清水区小芝町4-13 Tel054-361-0200 Fax054-361-0202
生活環境調査／自然環境調査／影響予測・総合評価／環境計量証明(大気・水質・土壌・悪臭・騒音・振動)
作業環境測定

一般社団法人 静岡県産業環境センター

〒431-2103 浜松市浜名区新都田一丁目4番6号 Tel053-428-3430 Fax053-428-3447
環境調査／環境計量／影響予測／総合評価環境コンサルティング／環境管理計画／作業環境調査
エネルギー資源の有効活用

静岡コンサルタント 株式会社

〒411-0804 三島市多呂128番地 Tel055-977-8080 Fax055-977-8600
建設コンサルタント／環境調査・影響予測・総合評価・測量・地質調査・補償コンサルタント／民間開発
都市計画・区画整理・交通計画／道路・橋梁・上下水道他土木設計／施工管理／農村整備／公園整備

株式会社 東日

〒410-0022 沼津市大岡2240-16 Tel055-921-8053 Fax055-924-8122
環境調査／影響予測・総合評価／道路設計／橋梁設計／治水対策／土砂災害対策／公園緑地設計
測量／地質／補償／地理情報システム／土地造成設計／民間開発／行政支援

株式会社 フジヤマ

〒430-0946 浜松市中央区元城町216-19 Tel053-454-5892 Fax053-455-4619
環境アセスメント／環境調査／保全対策／民間事業／史跡整備・文化財活用／農業土木
航空写真測量／地域計画／地形・地質調査／建設コンサルティング／設計・施工監理

発行 2026年1月

静岡県環境アセスメント協会
TEL054-255-3655

〒420-0047 静岡市葵区清閑町13-12
HP: <https://www.shizuoka-eaa.com>